

## 博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 下の文章の①～⑤に該当する適切な語句を下の□のa～dからそれぞれ選択し、文を完成させなさい。解答欄にはa～dの記号を記しなさい。(同じ番号には同じ語句が入る)(各4点)

( ① ) 年に日本万国博覧会(大阪万博)が開催された。この万博は( ② )をテーマに掲げたもので、テーマ展示プロデューサーには( ③ )が選ばれた。テーマ館の中心には( ④ )のデザインによる( ⑤ )が建てられた。その内部には生命の進化の過程を表現した( ⑤ )という高さ約41メートルのモニュメントが設置された。大阪万博終了後、( ④ )の内部は長らく非公開となっていたが、2018年に再び公開されるようになった。

- |   |             |                  |              |             |
|---|-------------|------------------|--------------|-------------|
| ① | a. 1970     | b. 1975          | c. 1985      | d. 1990     |
| ② | a. 人類の進歩と調和 | b. 人間・居住・環境と科学技術 | c. 自然と人間との共生 | d. 自然の叡智    |
| ③ | a. 中原佑介     | b. 岡本太郎          | c. 横尾忠則      | d. 坂本龍一     |
| ④ | a. 通天閣      | b. 太陽の塔          | c. 希望の壁      | d. サン・チャイルド |
| ⑤ | a. 重工業      | b. 森の掟           | c. 明日の神話     | d. 生命の樹     |

2. 下の文章の①～⑤に該当する適切な語句を下の□のA～Jからそれぞれ選択し、文を完成させなさい。解答欄にはA～Jの記号を記しなさい。(同じ番号には同じ語句が入る)(各4点)

美術館・博物館における「本」の展示は、テーマに応じてさまざまな方法で行われる。一般的に図書館で開架してあるように、背を手前として立てる場合、書名、著者名などを記した「背文字」をみせて設置する。下部になる切り口を( ① ), 反対に上部にあたる切り口を( ② )という。たとえば、( ② )が色染めされた本を展示する場合、来館者がみやすいように本は( ③ )置かれる。

特定のページをみせる場合、開いた状態で設置する。背の後ろにあたる、ページをめくる部分を（④）という。（④）の部分化粧立ちせず製本された本は、切りながらページを開かねばならない。開くとみえる、綴じられている側の余白部分は（⑤）という。開ききることができる本には（⑤）の余白がない例もあるが、ページ数、紙質、製本などによって開き具合は異なり、開いた状態が適切に保たれるように、そして来館者がみやすいように、工夫が求められる。

A 表紙	B 見返し	C 小口	D のど	E 天
F 地	G カバー	H 高く	I 低く	J はなぎれ

3. ①屋内展示、②屋外展示、③野外展示の違いについて、300字程度で説明しなさい。  
(20点)

4. 展示予定の資料・作品を借用する際、調書をとることは重要である。

集荷の段階において、あなたはいま借用する資料・作品の前に立っているとす。 (資料・作品はすでに収納・カバーから出された状態である。)

資料・作品の画像等が掲載された記入前の調書、および鉛筆を手にしたあなたが、これから確認すべき、または行うべき重要な事項を3つ挙げ、各事項を簡潔に50字程度で述べよ。ただし、調書を取り終えた後の事項(梱包等)は除く。(20点)

5. 飲食禁止の美術館・博物館の会場において「食」をテーマとする展示を行うとする。

その場合において、①題を設定し、②取り上げる資料・作品を具体的に挙げ、③それをどのような展示で行うか、④また想定しうる問題を挙げ、⑤その問題に対する対策を含めて、自由に述べよ。

ただし、①から⑤の項目の内容を含む簡潔な文章とし、文字数は200字から300字程度とする。(20点)